

＜建設業経理士1級（財務分析）ミニテスト6＞損益計算書の分析

次の資料にもとづいて、CMC社の比較損益計算書を作成し、それについて分析しなさい。

（単位：千円）

第11期

（自平成×1年4月1日至平成×2年3月31日）

完成工事高	18,000
完成工事原価	14,000
販売費	2,000
一般管理費	1,000
営業外収益	100
営業外費用	300
特別利益	0
特別損失	100
法人税、住民税及び事業税	300

社第12期

（自平成×2年4月1日至平成×3年3月31日）

完成工事高	22,000
完成工事原価	18,000
販売費	2,500
一般管理費	1,000
営業外収益	100
営業外費用	500
特別利益	200
特別損失	0
法人税、住民税及び事業税	150

	第 11 期	第 12 期	差額	
			増加	減少
完成工事高	18,000	22,000		
完成工事原価	14,000	18,000		
() 利益	()	()		
販売費	2,000	2,500		
一般管理費	1,000	1,000		
() 利益	()	()		
営業外収益	100	100		
営業外費用	300	500		
() 利益	()	()		
特別利益	0	200		
特別損失	100	0		
() 利益	()	()		
法人税、住民税及び事業税	300	150		
() 利益	()	()		

第 12 期においては、完成工事高が 4,000 千円増加し完成工事原価も同額増加している。

しかし、販売費が大きく増加しているために、営業利益は減少している。

さらに、営業外費用が増加し（負債の増加が想定できる）、特別利益でカバーしきれず、当期純利益は減少している。

＜建設業経理士1級（財務分析）ミニテスト6＞損益計算書の分析

次の資料にもとづいて、CMC社の比較損益計算書を作成し、それについて分析しなさい。

（単位：千円）

第11期

（自平成×1年4月1日至平成×2年3月31日）

完成工事高	18,000
完成工事原価	14,000
販売費	2,000
一般管理費	1,000
営業外収益	100
営業外費用	300
特別利益	0
特別損失	100
法人税、住民税及び事業税	300

社第12期

（自平成×2年4月1日至平成×3年3月31日）

完成工事高	22,000
完成工事原価	18,000
販売費	2,500
一般管理費	1,000
営業外収益	100
営業外費用	500
特別利益	200
特別損失	0
法人税、住民税及び事業税	150

	第 11 期	第 12 期	差額	
			増加	減少
完成工事高	18,000	22,000	4,000	
完成工事原価	14,000	18,000	4,000	
売上総利益	(4,000)	(4,000)	(0)	
販売費	2,000	2,500	500	
一般管理費	1,000	1,000	0	
営業利益	(1,000)	(500)		(500)
営業外収益	100	100	0	
営業外費用	300	500	200	
経常利益	(800)	(100)		(700)
特別利益	0	200	200	
特別損失	100	0		100
税引前当期純利益	(700)	(300)		(400)
法人税、住民税及び事業税	300	150	0	
当期純利益	(400)	(150)		(250)

第 12 期においては、完成工事高が 4,000 千円増加し完成工事原価も同額増加している。

しかし、販売費が大きく増加しているために、営業利益は減少している。

さらに、営業外費用が増加し（負債の増加が想定できる）、特別利益でカバーしきれず、当期純利益は減少している。